(6)

於

千

夕

REEL No. A-0303

0 3 8 9

アジア歴史資料センター

電信寫

祕

○印ハ寫送有ノト	參謀本部	陸軍省	海軍省	海軍省内	總理府	拓務省	農林省	燃料局	朝鮮總督	日本銀行	北領		
擧據ナシ													月日

昭和13　二四六九四　暗　新京　八月廿三日後發
本省　廿三日後着

宇垣外務大臣

第六〇三號

植田大使

第三六號

十七日「チタ」州議長代理ハ同地滿洲國領事ニ對シ莫斯科ヨリノ通達ニ依ル國内法規ナリトテ(一)蘇聯邦内旅行ニ際シテハ外交代表ノ許可ヲ要ス(二)途中下車ヲ禁ス之ヲ犯スモノハ罰金或ハ國外追放ニ處ス而シテ右ハ總テノ外國公館員ニ適用セラルル旨口頭ヲ以テ申入レ其ノ實行ヲ期マレル旨同領事ヨリ報告アリタル趣ヲ以テ右規則ノ有無並ニ貴地外國公館ニ對スル取扱振リ承知シ度キ旨外務局ヨリ依賴セルニ付テハ何分ノ儀御問電アリ度シ

大臣、哈爾賓、滿洲里ヘ轉電セリ

蘇ヨリ滿洲ヘ轉電アリタシ

REEL No. A-0303
0390
アジア歴史資料センター

寫

東亞局

歐亞局

公信機密第七七六號

昭和十三年九月二十七日

在哈爾賓
總領事 鶴見憲

在滿洲國
特命全權大使 植田謙吉殿

在「チタ」滿洲國領事館運轉手ノ資格剝奪ニ關スル件

本件ニ關シ今般駐哈外務局特派員ヨリ九月十六日附同局長宛秘第八一三號公信寫送付越セルニ付何等御參考迄別添ノ通進達ス

本信寫送付先

別紙添付

昭和十三年拾月拾日接受

B

外務大臣
在蘇大使

B

REEL No. A-0303

0391

アジア歴史資料センター

秘

秘第八一三號

康德九月十六日

駐哈爾濱外務局特派員
下村信貞

外務局長官
蔡運升殿

赤塔領事館運轉手ノ資格剝奪ニ關スル件

九月十四日ソ聯邦領事代理ゴルブツオフ他用ヲ以テ本官ヲ來訪セル際九月十二日附貴電ニ係ル本件ニ關シ在赤塔ソ聯官憲ハ最近同地滿側領事館運轉手ノ自動車運轉資格ヲ向後六ケ月間剝奪スル旨申渡スト共ニソノ理由トシテ、常ニ規定以上ノ速力ヲ出シ且事故ヲ起ス危險アルコト、運轉免許狀ノ期間經過セルコトヲ擧ケタル由ナルモ、

駐哈爾濱外務局特派員公署

哈外 №148

ニ付テハ同運轉手ハ常ニ規定ヲ遵守シ苟モ之ヲ犯ス如キコト無カリシハ勿論嘗テ一回タリトモ事故ヲ起シタルコトナキヲ以テ右ハ無稽ノ云ヒ懸リト看做シ得ヘシ更ニ、ノ理由ニ到リテハ寧ロ笑止ノ至リニシテ免許狀面ニハ何等有效期間ノ記載ナク仍テ我方領事館ニ於テハ八方調査セル結果過ル五月初旬地方新聞ニ自動車運轉免許狀嘗替ノ布告掲載セラレアルヲ辛ウシテ發見セル由ナリト逃ヘソ側官憲ノ態度ノ失當ヲ難詰シタル上我方運轉手ノ自動車運轉ニ支障ヲ來ササル樣緊急措置方要求セル處ゴハ本件ニ關シ何等情報ナキカ貴官ノ擧ケラレタル理由ヨリ推論スルモソ側官憲ノ處置ハ寧ロ當然ニシテ而モ運轉資格ノ剝奪迄ニ前後四ケ月ノ猶豫期間ヲ置ケルハ極メテ寛大ナル態度ト云ヒ得ヘク仍テ本件ノ非ハ書替ヲ怠リタル該運轉手ニ在ルコト明白ナリト不誠意ナル言辭ヲ弄セリ本官ハ貴方カ敢テ知ラサルコトニ依リ法律ノ制裁ヲ免ルルヲ得ストノ通則ヲ楯ニ取ラルルナラハソノ點ニ關スル限リ非ハ我方ニ在ルカノ如ク强辯シ得ヘキカ果シテ然リトセハ當國内ニ於テモ貴領事館ニ關シ種々斯種ノ事件ノ

駐哈爾濱外務局特派員公署

哈外 №148

REEL No. A-0303
0392
アジア歴史資料センター

發生ヲ見ルコトトナルヘシ夫レハ兎モ角貴方カ緊急ニ我方ノ要求ヲ容レサルニ於テハ双方共ニ自然ニ還レー主義ヲ採リテ爾今自動車等ノ使用ヲ一切停止シ貴我領事館員ハ專ラハイキングニ依ルコトトシ差支ヘナキカソノ何レニスルヤハポリセヴイクタルロマノフ州執行委員長ト國際人タル貴官ノ間ニ於テ篤ト協議決定アツテ可然當方トシテハ只貴方ノ出様如何ヲ俟ツノミト應酬セル處ゴハソ側トシテハ原始時代ヘノ復歸ハ御免被ルヘク尚貴官ノ要求ハ中央ヘ報告スヘシト述ヘタリ

右報告ス

本信寫送付先

赤領、武領、滿鐵

哈機、日領

駐哈爾濱外務局特派員公署

哈外 №148

REEL No. A-0303

0393

アジア歴史資料センター

電信寫

祕

昭和13　二九五八一　暗　新京　十月八日後發
本省　八日後着

東亜課

（印ハ密封ノコト）

月	日	付	済

北鮮	
日魯北	
燃料局	朝鮮石
農林	鉄道
總務	拓務
海軍	内務
電信	大蔵
参謀本部	陸軍
軍令部	海軍

福田大使

第七〇三號

一、昨夕一件事來電要領

(一)二日午後三時半頃、荻野、西北南主事私用ニテ外出セル處、市内ニ於テ民衆画服着用ノ尾行者ハ兩名カ之分証明書ヲ携行セサル理由ノ下ニ官力ヲ以テ逮捕、氏管署ニ同制連行シ、各別室ニ於テ荻主事ノ紹屋、任管等ニ付聞人ニ等シキ尋問候問ヲ行ヒ荻野主事ハ翌三日午前五時、西北主事ハ午前八時夫々訊問ヲ終了釈放セラレタリ

(二)二日ヨリ新聞ヲ配達セス、

(三)二日夕刻ヨリ館内三國ノ電話線ヲ切断セラル

(四)二日夕刻ヨリ立哨民警ハ三名ニ増加セラレ貴ノ聯絡ヲ厳重ニシテ内一名ハ浪家館陣後家屋屋上ニ立チテ館エス館内ヲ監視ス

(五)魚三個ハ二日夕ヨリ消滅セラレ四日朝ニ至リ漸ク調査セリ

(六)暗殺説、海流説ハ特記セリ

REEL No. A-0303
0394
アジア歴史資料センター

電信寫

祕

印（電報ニ印ノコト）
変換文
参謀本部
陸軍大臣
海軍大臣
海軍省
内務大臣
拓務大臣
朝鮮総督
朝鮮軍司令官
北支那方面軍
月　日送付済

昭和13　二九七四二　発　新京　十月十日後発
本省　十日夜着

新京外務大臣

貴電第七〇八號

貴電第七〇三號ニ關シ

五日乃至九日着ノ「チタ」領事來電要領

一、同日午後二時「バ」ザール」ニ着キタル屋人（支那人）一名ハ居行ノ領事民衛ヨリ旅券ナキヲ理由ニ逮捕セラレ取調ヲ受ケ五日午後五時釋放セラレタリ

二、五日午後五時領事館ヨリ通路ヲ横切リ向側ノ宿舎ニ赴ヘル日本人通路士ハ立哨セル民警ニ因止セラレ旅券ノ提示ヲ求メラレ之ヲ拒示セルニ旅券ノミニテハ不確ナリトノ口實ノ下ニ民警署ニ連行セラレ取調ヲ受ケ六日午前七時釋放セラレタリ

三、其ノ後新聞配達停止並ニ電話切斷ハ依然継続セラレス

武市領事來電要領

一、十月三日拂曉武市領事館車庫内ニ在リタル自動車ノ機關部銃。化。番。

振切ラレタル事件取調ノ參考人トシテ七日出頭セル某屋員及同道ノ大石副領事ハ午前十一時ヨリ十二時間領事館ニ留置カレタリ

二、同日午後四時右消息取調ノ爲出向キタル泉副領事及鍋主事ハ旅券ヲ提示セシニ拘ラス身分取調ヲ理由ニ制服及私服二名ノ警官ノ爲衛則ヨリ强制的ニ警察ニ連行サレ左シタル取調モナク午後十二時釋放セラレタリ

後、哈爾濱、清滿国ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303
0395
アジア歴史資料センター

電信寫

祕

○印（寫送付ノコト）

参謀本部	
陸軍省	
軍令部	
海軍省	
海軍省内務部	
拓務省	
農林省	
朝鮮総督府	
日本銀行	
北支那開発株式会社	

昭和13　二九九八一　陸、海、東、本省　十月十二日後着　十二日夜着

新聞外務大臣

第七二一号

往電第七〇八號ニ關シ

一、其ノ後「チタ」ニテハ十日午前十一時頃ヒ日本人逃轉士市内ニテ逮捕セラレ民警官ニ連行格別ノ訊問ヲ受ケサリシモ訊問後五時間ニ亘リ出野街道ヲ引廻サレタル上公衆ノ面前ニテ侮辱罵倒ヲ受ケ遂ヲ午后十二時釋放セラレタリ尚十日ニ至ルモ電話新聞ハ復活セラレス文信人カ逃亡以來恐怖ノ爲メト飲料水ノ缺乏ヲ爲サス蘇側亦配給ヲ實施セサル爲極メテ水價値ニ漲シ居ルノミナラス馬ハ飼料不足ノ爲飢死セントシ食料品ノ購入スラ主事以上ノ者二名カ借入ヲ同僚自ラ虐殺シ居ル狀況ナル由ナリ

二、浦市ニ於テハ九日附來電ノ通リ水及薪ノ配給停止セラレ又新聞ノ配達ヲ爲ササルノミナラス市内ニ於テモ値段騰貴セサル趨ナリ

尚、時間遅、謹調皇ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303

0396

アジア歴史資料センター

電信寫

祕

陸軍大臣	
海軍大臣	
海軍軍令部	
海軍省	
外務大臣	
拓務大臣	
朝鮮總督	
臺灣總督	
關東廳	
北支那	
月 日	

昭和13　二九九八二　暗　新京　十月十二日夜發
本省　十二日夜着

歐、亞

廣田大使

近衛外務大臣

第七二二號

往電第七〇八號ニ關シ

十一日下村ヨリ「ゴルブツオフ」ニ對シ其ノ後ノ歷迫狀況ヲ說明シ、重抗議スルト共ニ歷迫ノ即時解除並ニ將來ノ保障ニ付最短期間ニ貫徹アル回答ヲ要求セル趣ナリ

尙「チタ」ニ於テハ三日以來殆ト連日州議長ヲ往訪面會ヲ要求セルモ九日ニ至ルモ面會出來ス領事ハ辛ウシテ議長輔佐ニ抗議ノ取次ヲ依頼シ居ル狀況ナリ武市ニ於テハ八日最副領事外交代表ニ面會抗議セル處同代表ハ大石副領事ノ件ハ誤解ニ基クモノナルヘシ最副領事及當主事ノ件ニ付テハ茜タ遺憾ニシテ直ニ調査ノ上必要ノ處置ヲ執ル旨答ヘタル趣ナリ

尾、哈爾賓、滿洲里ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303
0397
アジア歷史資料センター

祕

電信寫

外務省

昭和13　三〇五九四　暗　新京　十月十八日後着　本省　十八日夜着　宥、亜

在奉天外務大臣

第七三四?號

往電第七二二號ニ關シ

十三日「チタ」松永領事ハ漸ク州警長ニ面會スルコトヲ得タルカ警長ハ面會ニ先立チ分證明書ノ提示ヲ求ムル等不遜ノ態度ヲ取リ松永ノ領事補、領事補不法逮捕ニ關スル抗議ニ對シテモ旅券ヲ所持セサル者カ拘留セラルルハ當然ナリトカ其ノ他事毎ニ言ヲ左右ニシ何等誠意ノ認ムヘキモノナシ）カリシ亜ニテ又其ノ後武市官憲ノ態度モ滿洲ノ抗議ヲ何等顧ミサル亜ナリ

蘇、哈爾賓、滿洲里ヘ轉電セリ

植田大使

祕

電信寫

外務省

昭和13　三〇五九二　暗　新京　十月十八日後着　本省　十八日夜着　宥、亜

在奉天外務大臣

第七三五號

往電第七二一號ニ關シ

十六日迄ノ「チタ」來電ニ依レハ電話ハ依然復旧セラレス館ニ對スル監視警戒モ緩和セラレス館員逮捕ノ危險モ依然去ラス他方武市ニ於テハ十三日午後三時頃佐藤主事電信局ニ赴ク途中警察ニ連行セラレ翌十四日午前一時半歸還セルヲ以テ新ノ供給ナキニ依リ已ムナク廢棄備品及書籍類ヲ燃料ニ代フルニ至レル趣ナリ

蘇、哈爾賓、滿洲里ヘ轉電セリ

植田大使

REEL No. A-0303

0398

アジア歴史資料センター

東亞局

寫

第一課

別紙添付

公領機密第八一七號

昭和十三年十月十八日

在哈爾賓

總領事 鶴見憲

在滿洲國

特命全權大使 植田謙吉殿

在「チタ」滿側領事館主事逮捕及武市領事館自動車機關部盗難ニ關スル件

本件ニ關シ今般駐哈外務局特派員ヨリ十月十一日附同局長官宛秘第八九二號公信寫送付越セルニ付何等御參考迄別添ノ通進達ス

本信寫送付先

外務大臣

在蘇大使

REEL No. A-0303

0 3 9 3

アジア歴史資料センター

秘 寫

秘第八九二號
康德五年十月十一日

駐哈爾濱外務局特派員
下村信貞

外務局長官
蔡運升殿

赤塔領事館主事逮捕及武市領事館自動車機關部盜難ニ關スル件

十月四日附貴電ニ係ル本件ニ關シ十月五日本官ソ聯總領事代理ゴルブツオフヲ往訪シ會談シタル次第ハ十月六日附往電ヲ以テ不取敢概略報告シ置ケル處右詳細爲念左記ノ通追報申進ス

駐哈爾濱外務局特派員公署

記

貴官ハ既ニ承知シ居ラルルヤモ知レサルカ在武市及赤塔滿側領事館ニ對シ東西相呼應スルカノ如ク相次テ重大事件發生セリ即チ武市ニ於テハ十月三日拂曉何者カ領事館内ニ侵入シ自動車庫ノ扉ヲ破壞シ自動車機關部ノ機械ヲ捻切レル事實發見セラレタリ

武市領事館カ前面及側面ヨリゲ・ペ・ウニ包圍監視サレ館出入者カ一人殘ラス嚴重極マル訊問、檢査及尾行ヲ受ケ一般ニ危險區域トシテ外間ヨリ窺ヒ寄ル者ナク又ソノ間隙ナキ實情ニ鑑ミ本件ハ單ナル窃盜行爲トモ思ハレス背後ニ何等カノ存在ヲ推斷セシムルモノアリ中央ノ訓令ニ基キ茲ニ嚴重抗議スルト共ニ緊急ニ犯人ヲ逮捕シ眞相ヲ闡明シ盜難品ヲ返還スルコト及將來斯種不詳事件ノ再發セサル樣有效措置ノ採用方ヲ要求ス序乍ラ若シソ側ニ於テ强ヒテ館用自動車ヲ不要ト做ス意向アラハ爾今相互的ニソノ使用ヲ全廢スルモ敢テ差支ヘナシ尚武市領事ヨリモ

駐哈爾濱外務局特派員公署

REEL No. A-0303
0408
アジア歴史資料センター

同地ソ側外交代表ニ對シ本件嚴重抗議スルト共ニ敍上ノ如キ要求ヲ爲シタル處之ニ對シ右外交代表ハ遺憾ノ意ヲ表シタル趣ナリ次ニ赤塔ニ於テハ領事館主事狄野及西北兩氏カ十月二日午後三時頃外出セル處市中ニ於テ制服着用ノ民警ハ兩名カソノ身分ヲ明示シタルニモ不拘有無ヲ云ハサス實力ヲ以テ兩名ヲ逮捕シ第一赤塔民警署ニ連行別々ニ一室ニ監禁シタル上凡ソ文明國ニ於テハ前代未聞ノ峻烈サヲ以テ荻野氏ニ對シテハ翌三日午後五時西北氏ニ對シテハ同八時迄夫々夜ヲ撤シテ訊問ヲ行ヒ同九時漸ク釋放セリ

本件ハソ側ノ計劃的行爲タルコト明白ニシテ中央ノ訓令ニ據リ嚴重抗議スルト共ニソ聯政府ノ正式陳謝、責任者ノ處罰及將來絶對ニ斯ル不法行爲ヲ繰返ササルヘキ旨ノ保障方ヲ要求ス

尚ソ側カ右要求ニ應セサル場合滿側ハ已ムヲ得スソノ適當ト思惟スル報復手段ヲ採ルヘキ旨警告スルモノナリ

本官ハ右二件ニ關シ何等ノ情報ニ接シ居ラサルカ按スルニ第一ノ件カ純然タル刑事事件タルハ疑問ノ餘地ナク之ヲシモ恰モソ側官憲ノ計劃的行爲ナルカノ如ク云ハルルトハ意外ナリ勿論ソ聯官憲ハ文明國ニ於ケル當然ノ處置トシテ斯ル刑事犯人ヲ捜索シ發見次第逮捕シ處罰スヘシ兎ニ角貴官申出ノ二件ハ之ヲ中央ニ報告シ同訓ヲ俟ツテ再論スルコトト可致カ右ニ關連シ本官ハ滿洲國內ニ於ケルソ聯領事館、一般ソ聯居留民及モロトフ鐵道縱業員等ニ對スル滿側官憲ノ連續的壓迫ノ現況ニ對シ特ニ貴官ノ注意ヲ促シ度卽チ過般我領事館及病院等ハ警官ニ包圍セラレソノ際副領事以下多數館員ハ訊問及捜索ヲ受ケタルカ爾來白衛兵ハ依然トシテ館前ニタカリ館出入者ニ着キ纏ヒ特ニ最近ニ到リ當地官憲ハ領事館ヘノ牛乳及パン等ノ配達ヲスラ妨害シ居レリ若シ夫レソ聯居留民ニ對スル全面的壓迫ニ到リテハソノ事例ハ正ニ枚擧ニ遑ナク而モ右ハ悉ク連續的對ソ挑戰ト看做ス外ナシ

ソ聯領事館及ソ聯居留民ニ對スル敍上ノ如キレジームカソ聯官

駐哈爾濱外務局特派員公署

REEL No. A-0303
アジア歴史資料センター

民ノ輿論ニ不愉快ナル影響ヲ與ヘサル筈ナシ而モ滿側ハ右ニ關スルソ側屢次ノ申出ニ對シ未タニ明確ナル說明乃至陳謝ヲ爲シタルコトナク現狀ヲ以テ推移センカ、ヨリ重大ナル問題ノ惹起セサルナキヲ保シ難シ從ツテ先ツ斯ル事態ノ是正ヲ計ラサル限リ滿側ニハソノ在ソ領事館ノ現況ニ付云爲スル根據ナシ

武領ノ件ニ關シ前述ノ如ク蟻モ通サヌ嚴重極マル監禁下ニ於テ斯種犯行アリ之ヲ一種ノ計劃的行爲ト推斷スルハ客觀的ニ妥當ナラスヤ尙武領自動車庫及被塀ノ修理ニ辛ウシテ招ケル技師ハ只一回下檢分ヲ行ヒタル後杳トシテ委ヲ見セス又官憲ニ對スル再三ノ交涉モ悉ク無結果ニ終リ居ル現狀ナリ

斯ル問題ハ些事ニシテ外交問題トシテ提起スル程ノコトナシ實ハ當館モ幾多ノ修理ヲ貴方ヲ煩ハサスシテ行ヒ居リ若シ滿側領事館カ熱心ニ交涉セラルルナラハ本件ノ如キハ現地限リニテ處理シ得ヘシ自動車機關部ノ窃取ハ前述ノ通純然タル刑事犯罪ト看做スヘキニシテ之ヲシモソ聯官憲ニ關係アルカノ如ク云ハ

ルルハ本官ノ全然承服シ得サル處ナリ然ルニ滿洲國內ニ於ケルソ聯領事館包圍及ソ聯居留民壓迫等ハ日滿官憲ノ對ソ敵對方針ノ具現ニシテ滿側ニ於テ若シ兩國關係ノ好轉ヲ圖ル意向ヲ有セラルルナラハ先ツ斯ル恣意的行爲ヲ停止セラレ度

下村　領事館出入者ノ檢査ハ當時說明シ置ケル通或種重大犯罪搜索ノ爲ノ突發的一時的處置ニシテ而モ右ハ北滿一帶ニ亘リ國籍ノ如何ヲ不問一般ニ行ハレタルモノナリ然ルニ在ソ滿側領事館ハ如何！開設以來數年ニ亘リ晝夜間斷無クゲ・ペ・ウノ包圍下ニ在リ或ハ館員ノ行動範圍ヲ市中ノ一部ニ局限シ或ハ醫師ノ來診ヲ阻ミ或ハ水其他日常必要品ノ供給ヲ妨害シ斯種具体的實例ハ枚擧ニ遑無ク其迫害壓迫ハ益々苛烈ヲ極メ斯クシテ館務ノ遂行ヲ殆ント不可能ナラシメ居ル現狀ナリ而シテ今ヤ故ナク領事館主事等ヲ逮捕ス貴我ノ壓迫振リハ斷シテ同日ニ談スル能ハス貴官ノ片々タル對抗的言說ヲ以テソノ非道ハ掩フヘクモナシ

尙貴官カ本件ヲ些細ナルカノ口吻ヲ弄ヒタルヲ本官ハ頗ル重

REEL No. A-0303
0403
アジア歴史資料センター

要視スルモノナルカ抑々ソ側ハ滿側ヲシテ已ムヲ得ス對抗手段ヲ採ラシメントスルモノナリヤ否ヤ

些細云々ハ領事館板塀等ノ修理ニ付キテ云ヘルモノニシテ赤塔ニ於ケル事件ハ勿論之ヲ重大視スルモノナリ尙ソ聯領事館包圍ノ件ニ關シ右ハ恰モソ聯ノミヲ對象トセサルカノ如ク云ハルルモ斯ノ如キハ正ニ堅白異同ノ辯ニシテ在哈外國領事館中ソ聯總領事館ヲ除キ斯ル處置ヲ受ケタルモノ皆無ナリ若シ滿側ニソ聯領事館及ソ聯居留民ニ對スル壓迫的態度ヲ是正スル意向ナキニ於テハ不日領事館ニ關スル問題ヲ全面的ニ撤回スル時期到來スルヤモ知レス尙報復手段ノ採用如何ハ貴方ノ御隨意タルヘシ

下村　本官ハ元來ソ側ニシテソノ誤レル態度ヲ是正スルニ於テハ兩國關係ノ改善ハ必スシモ悲觀スルニ當ラストノ見解ヲ有シ來リ又其ノ努力ヲ試ミ來レルモノナルカ貴官乃至ソ側ニシテ棄鉢的態度ヲ採ルニ於テハ乃至如斯言辭ヲ弄スルニ於テハ再考セサル

ヲ得ス兩國關係乃至貴官ノ爲ニ遺憾トスルモノナリ本日ノ我方

駐哈爾濱外務局特派員、公署

哈外 №148

要求ニ對シ速カナルソ側ノ回答ヲ期待スルモノナリ

（了）

本信寫送付先

蘇領、武領、滿辦

哈機、日領

哈憲、濱警、哈警

駐哈爾濱外務局特派員、公署

哈外 №148

REEL No. A-0303

0403

アジア歴史資料センター

電信寫

祕

昭和16　三二三一〇　暗　新京　十一月二日後發　歐亞
本省　二日後着

有田外務大臣

植田大使

第七七四號

往電第七八九號ニ關シ

貴ノ後「チタ」ヨリ三十日送附セラレタル傷人ハ一日正午ニ至ルモ
歸送セス飲料水補給ノ途モ遮斷セラレタル旨來電アリ（武電ヨリハ
拘等ノ情報ナシ）依テ外務局ニ於テハ蘇側ノ所謂半常化云々カ必ス
シモ信ヲ置キ難ク或ハ已ムヲ得ス引揚ケサルヲ得サルカ如キ事態ニ
陥カルルニ至ルナキヤヲ惧レ關係機關トモ協議ノ上今暫ク現地ヨリ
ノ報告ヲ待ツヘキモ必要ノ場合ハ報復トシテ暗號電及滿洲里蘇領事
館ニ對シ蘇側カ滿洲國領事館ニ對シ爲セルト殆ト同樣ノ壓迫ヲ加ヘ
得ル樣訓令ノ準備ニ着手スルコトニ決定セル趣ナリ
追而、暗號電ハ滿洲里ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303
アジア歴史資料センター

電信寫

祕

昭和15　三二三一〇　暗　新京　十一月一日後発　獣亜
本省　二日後着

有田外務大臣

第七七四號

往電第七六九號ニ關シ

貴ノ後「チタ」ヨリ三十日遂電セラレタル佛人ハ一日正午ニ至ルモ
歸遠セス飲料水補給ノ為モ遣顧セラレタル旨來電アリ（武市ヨリハ
他等ノ情報ナシ）依テ外務局ニ於テハ蘇佛ノ所謂平常化云々カ必ス
シモ信ヲ置キ難ク敢ハヒムヲ得ス引揚ケサルヲ得サルカ如キ事態ニ
陥カルルニ至ルヲキヤヲ懸レ關係機關トモ協議ノ上今暫ク現地ヨリ
ノ報告ヲ待ツヘキモ必要ノ場合ハ報復トシテ暗號電及爆弾里蘇領事
館ニ對シ佛力爆弾事件ニ對シ爲セルト殆ト同様ノ壓迫ヲ加ヘ
得ル様諸般ノ準備ニ着手スルコトニ決定セル趣ナリ
尚暗號電ハ爆弾里ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303
0405
アジア歴史資料センター

極秘

電信寫

公館

昭和七年　第二八六一　暗

暗使第　十一月八日發
　　陸亞
八日後着

本省

在山外務大臣

第二〇〇號（極秘）

本官憲兵隊宛電報

第二〇〇號

往電第一九八號ニ關シ

一、七日當地ニ於ケル革命記念日祝賀「レセプシヨン」ヲ催シタル際南京ニ於テハ外國領事トノ紛議ヲ起クル虞ナキ領事團前ニ於リタル藤ヲ一時埋メ外國領事ノ出入ニ支障ナカラシメタルカ右「レセプシヨン」ノ席ニ於テ蘇領事代理「ゴルブツオフ」ハ蘇貿用ノ食料品ノ購入ヲ不可能ナラシメタル滿洲ノ行政ハ外國領事團ニ對スル侮辱ニシテ國際儀禮ニ反スルモノナルヲ以テ首席領事タル本官ニ訴ヘサルヲ得スト入イニ苦情ヲ申立テ又今回ノ滿洲蘇領事團座退ハ滿洲カ反共運動（本月六日ヨリ當地ニ於テハ反共過間ヲ催シ各種ノ宣傳ヲ爲シ居レリ）ノ一部トシテ行ヒ居ルモノナリトテ大イニ憤慨シ居リタルニ付本官ヨリ今回ノ事件ハ反共運動トハ直接ノ關係ナク蘇領ニ於テ「チタ」及武市ノ滿洲領事團座退ノ態度ヲ以ムレハ事態ハ直ニ改善セラルヘキヲ信スル旨說明シ置ケリ

二、尙蘇貿公著員ノ內話ニ依レハ「チタ」及武市ニ於ケル事態モ漸ク平常化ニ向ヒ居ル旨電報ニ接シ居ルモ蘇領ハ未タ今後ノ保障モ爲

REEL No. A-0303
0406
アジア歴史資料センター

電信寫

極秘

ノ居ラス又「チタ」ニ於テ滿人側人一名、武市ニ於テ主謀ノ夫人（蘇聯人）ノ參加モ未解決ノ儘殺リ居ルニ付是等ノ問題西園寺公ヨリ「ゴ」ニ申入レタル處「コ」ハ爲メ力七日午後下村特派員ヨリ「ゴ」ニ申入レタル處「コ」ハ爲メ本ケル滿側ノ座視ヲ先ツ解決スルニアラサレハ他ノ問題ニ立入ルコトヲ得スト主張シ譲ラサリシモ結局會談ノ次第ヲ其期ニ報告スル旨答ヘタル趣ナルカ滿側ニ於テハ前記「チタ」及武市ニ於ケル未解決ノ問題ノ片付ク迄報復手段ヲ執クルコトト覺シ居ル為ナリ

大臣ニ御知置ハ願置セリ

電信寫

昭和13　三四〇二五　略　哈爾賓　十一月十九日後發　歐、亞

本省　十九日夜着

有田外務大臣

鶴見總領事

第二〇七號

本官發滿宛電報

第二〇八號

大臣發閣下宛電報第一一二〇號ニ關シ

十九日「ゴルブツオフ」總領事代理下村特派員ヲ來訪「ジユルバ」同樣ノ抗議ヲ申出テタルカ滿側警察ニテハ十二日夜以後自動車以外ノ陸迫ハ解除シ居リ殊ニ食料品ノ搬入ヲ阻止セシメタルコトナシ

大臣、蘇ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303

アジア歴史資料センター

電信寫

祕

昭和五　三四二〇八　臨　倫敦　十一月廿一日後發
　　本省　廿一日夜着

有田外務大臣

第八二二號ノ一

往電第八一二號ニ關シ

一、十八日下村「ゴルブツオフ」ヲ招致旨眼往電一、ノ狀態ヲ說明シ餘側ハ遽ニ此ノ極惡ヲ清算シ相互ニ正常化スルノ意圖ナキヤ承知シ度シト述ヘタル處「ゴ」ハ兩側官憲ノ露國領事館包圍當時白系官憲カ領事館ニ對シ投石シ且勝門ヲ破壞セルコトハ既ニ通報セルモ一往電第八〇六號御參照）彼等ハ尙正門ニ擧上リ露國國旗、領事並ニ館員同妻女等ニ有リト凡ユル侮辱的言辭ヲ弄シ或ハ正門ノ

廣場ニ諸車ヲ以テ惡極マル落書ヲ爲シ或ハ當時入館セントセル多數ノ露國婦人ヲ老幼男女ヲ問ハス邊捕シ且暴行ヲ加ヘ中ニハ重傷者ヲ出シ更暴力ヲ以テ輸送ノ書名ヲ強要シ目下尙四名ハ拘留サレ居ラスト元館員一バニユヒン」以下ノ氏名ヲ擧ケ現在モ入館セントスル露國人其ノ他ヲ拘留シ居リ現ニ本官カ此處ニ赴カントスル際ニモ牛乳ヲ屆ケントセル者及食料品店員等五名ヲ館前ノ哨舍ニ拘留シ居ル次第ニテ其ノ他ハ枚擧ニ遑アラス責任ハ唯々之ヲ否定セントサルルモ右ニ關シ外務局員立會ノ下ニ檢證スルモ可且又鮮側ヨリ寫眞ヲ提供スルモ可ナリト述ヘ更ニ當館前ノ溝カ依然トシテ殘サレアルハ之亦暴擧ノ眞證ニ外ナラスト述ヘタル上（續ク）

REEL No. A-0303
0448
アジア歴史資料センター

電信寫

祕

昭和15　三月二〇九　陸軍省　受〆　十一月廿一日発信
本省　廿一日夜着

南京　外務大臣

第八二二號ノ二

右ノ如ク今ヤ海軍ハ個々ノ島嶼ヲ占領スルノ時機ニアラスシテ、
新情勢カ此ノ事態ニ基因シ惹起ノ結果ヲナス白系露人等ノ動向ヲ決然
トシテ放置スルヤ否ヤニ関テハ尚リ疑問スルモノナ
リト謂ヘタルカ十九日「ゴ」下村ヲ交渉莫斯科ノ訓令ニ依ル旨ヲ以
テ右同盟ノ深刻ヲ感シ同盟ノ要求ヲ求メタルニ依リ下村ハ直接軍ノ
使用禁止等ハ兼個ニ考アリ其ノ他ノ点ハ個別事項ノ地位確認ノ生活等
ハ「チタ」武市ノ事情カ完全ニ正常化セハ相互主義ニ寄リ保護スヘ
ク其ノ他ノ等情ニ付テハ一応同意ノ上如何主義ノ下ニ適当ノ手段ヲ
採用スヘク満ニ付テハ之ヲ運ムル用意アル旨答弁シ十八日申入ニ対
スル回答ヲ要求シ置ケル通ナリ

二、昨晩第一一二〇電ニ右ニ関シ相手ノ次第モアリ外務局ニ於テハ十九
日夜緊急閣議ヲ開キ長ヲ哈爾賓ニ派遣シ現地事情ト満洲ノ上層部並
ニ同官ノ見解ヲ聴取シ更ニ同盟ノ決定ニ完全ニ復帰スル様訓令ヒタリ尤モ下
村来電ニ依レハ貴電ニ付テハ哈爾賓来電第二〇八號ノ通リ電報ニ
テハ妨害ノ点責絶對ニナシト主張シ居ル中尚十九日午下村来電ニ依
レハ少ハ一層日中ニ関メルコトニ決定セル様ナリ

三、尚「チタ」及武市ノ其ノ事情ハ今日迄ノ所依然冒頭往電一ノ通リ
ナリ

陸軍省ヨリ関東軍ヘ通電セリ

REEL No. A-0303
0483
アジア歴史資料センター

電信寫

祕

公信

昭和五　三四二〇八　暗　朝京　十一月廿一日後發　歐、亞

本省　廿一日夜着

有田外務大臣

第八二二號ノ一

往電第八一二號ニ關シ

一、十八日下村「ゴルブツオフ」ヲ招致冒頭往電一、ノ狀態ヲ說明シ蘇側ハ速ニ此ノ種事態ヲ消算シ相互ニ正常化スルノ意圖ナキヤ承知シ度シト述ヘタル處「ゴ」ハ兩側官憲ノ露國領事館包圍當時白系警官カ領事館ニ對シ投石シ且脇門ヲ破壞セルコトハ既ニ通報セルモ（往電第八〇六號御參照）彼等ハ尙正門ニ攀上リ露國國旗、領事館並ニ館員同妻女等ニ有リト凡ユル侮辱的言辭ヲ弄シ或ハ正門ノ被覆ニ繃帶ヲ以テ醜惡極マル落書ヲ爲シ或ハ當時入館セントセル多數ノ露國籍人ヲ老幼男女ヲ問ハス逮捕シ且暴行ヲ加ヘ中ニハ重傷者ヲ出シ又暴力ヲ以テ輸送ノ者名ヲ强要シ目下尙四名ハ釋放サレ居ラスト元館員「バニユヒン」以下ノ氏名ヲ擧ケ現在モ入館セントスル露國人其ノ他ヲ拘留シ居リ現ニ本官カ此處ニ赴カントスル際ニモ牛乳ヲ屆ケントセル者及食料品店員等五名ヲ館前ノ哨舍ニ拘留シ居ル次第ニテ其ノ他ハ枚擧ニ遑アラス貴官ハ唯々之ヲ否定セントサルルモ右ニ關シ外務局員立會ノ下ニ檢證スルモ可且又蘇側ヨリ寫眞ヲ提供スルモ可ナリト述ヘ更ニ當館前ノ警力依然トシテ殘サレアルハ之亦毎夜ノ象徴ニ外ナラスト述ヘタル上（續ク）

REEL No. A-0303

アジア歴史資料センター

電信寫

祕

昭和15　三月二〇九　着　昭和　十一月廿一日午後　受信
本省　廿一日夜着

南京外務大臣

第八二二號ノ二

右ノ如ク今ヤ南京政權ハ種々ノ問題ヲ解決スルノ時機ニアラスシテ南京カ日ノ時間稼ヲナス白系露人排除ノ長狀ヲ以テ廣東ノ事カ完全ニ正常化セハ相互主權ニ依リ保障スヘキリト為ヘタルカ十九日「ゴ」下村ヲ交詩夏斯斗ノ訓令ニ依ル點ヲ以テ右問題ノ解明ヲ要シ兩國ノ要望ヲ求メタルニ依リ下村ハ自發的ニ日本ノ出禁止案ハ撤回スヘキ旨ヲ申入ニ對シ十八日申入ニ對明禁止案ハ撤回ニ付テハ之ヲ理由トスル旨アル旨申シ十八日申入ニ對ハ「チタ」武官ノ事件カ完全ニ正常化セハ相互主權ニ依リ保障スヘク其ノ他ノ事情ニ付テハ一應國交ノ上相互主權ノ下ニ適當ノ手段ヲ採用スヘク從ニ付テハ之ヲ理由トスル旨アル旨申シ十八日申入ニ對スル回答ヲ要求シ置ケル趣ナリ

三、當電發一一二〇號ニ右ニ關シ當地ノ次第モアリ外務局ニ於テハ十九日汪兼任外交部長ヲ訪問シ派遣シ現地事情ヲ「ト」部長ノ上報ニ依ク其ノ他ノ事情ニ付テハ一應國交ノ上相互主權ノ下ニ適當ノ手段ヲ採用スヘク從ニ付テハ之ヲ理由トスル旨アル旨申シ十八日申入ニ對スル回答ヲ要求シ置ケル趣ナリ

三、當電發一一二〇號ニ右ニ關シ當地ノ次第モアリ外務局ニ於テハ十九日汪兼任外交部長ヲ訪問シ派遣シ現地事情ヲ「ト」部長ノ上報ニ依リ本件ニ付ノ紀綱ヲ樂觀ノ狀況ニ完全ニ南京スル樣命ヒタリ尤モ下村來電ニ依レハ食糧ニ付テハ南京來電第二〇八號ノ通リ海軍側ニテハ妨害ノ事實絶對ニナシト主張シ居ル由尚十九日付下村來電ニ依レハ少ハ一兩日中ニ解メルコトニ決定セル樣ナリ

三、尚「チタ」及武官ノ其ノ後ノ事項ハ今日迄ノ所依然冒頭往電一ノ通リナリ

南京、南昌、福州、漢口ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303
アジア歴史資料センター

四覽後廻

公信

祕

電信寫

昭和13　三月二八日　哈爾濱　十二月廿二日發　政、照
南京　外務大臣　宛
第二〇九號
本省發滿電第
第二一一號
廿一日蘇聯總領事代理「ゴルブツオフ」下村特派員ヲ來訪莫頻科ノ
調査ニ依ル趣ヲ以テ滿蘇關係正常化ノ爲
一、日系露人警察官ヲ蘇聯領事館周圍ヨリ撤退セシムルコト
二、領事館用自動車ノ使用及沽亞ニ館員ノ「タクシー」使用ヲ妨害セ
サルコト
三、館員ニ對スル尾行撤廢
四、蘇聯居留民ニ對スル追放止
五、蘇聯人居留民カ當然有スル基本的權利尊重
六、在滿蘇聯人北滿年金受給者ニ對スル年金ノ即時支拂實施
七、被逮捕蘇聯人ノ至急釋放
八、館員並ニ蘇聯人居留民ニ對スル出入國査證ノ即時發給方
ニ付滿鐵ノ回答ヲ求メ五日以内ニ回答ナキカ又ハ回答アルモ「ゴ」
ニ於テ不滿足ナリト考フル時ニ自動的ニ在滿蘇聯領事館ノ清算ニ取
掛カルヘシト申出テタル趣ナリ不取敢
大臣、蘇、滿附里ヘ轉電セリ

598

REEL No. A-0303
0412
アジア歴史資料センター

電信寫

秘

昭和13　三月二六七　暗　至急

有田外務大臣　十一月廿二日前發

第二一四號　本省　廿二日後着

本電神浦岡宛電報

第八號

咸鏡北道水産試驗船白洋丸ハ十三日未明清津出航後沿海州ヨリ一回

無電アリタルモ其ノ後消息無ク多分運轉ニ抑留セラレタルニアラス

ヤト思料セラルル趣ヲ以テ二十二日羅南第五兵隊本部ヨリ同船所在ハ

右方依頼アリタルニ付何分ノ御配慮ヲ請フ

大臣、満へ轉電セリ

REEL No. A-0303

0413

アジア歴史資料センター

電信寫

祕

昭和13　三四二九六　暗　新京　十一月廿二日後発、廿三日夜着

本省

有田外務大臣

貴八二四號（至急）

往電貴八二二號ニ關シ

二十一日午後三時「ゴルブツオフ」下村ヲ來訪シ莫斯科ヨリノ訓令ニ依ル趣ヲ以テ蘇側ハ左記諸事項ノ緊急解決方ヲ主張之ニ對シ滿領ヨリ二十一日ヨリ五日以内ニ滿足ナル回答ナキ場合本官（「ゴ」）ハ蘇聯領事館ノ清算ニ着手シ同時ニ滿洲國領事館ノ清算方提議スヘシ尚右ト同様ノ警明ハ滿洲里ニ於テモ蘇側ヨリ滿側ニ對シ爲サルル筈ナリト述ヘタル趣ナリ

植田大使

一、白系露人等官ヲ蘇領事館ノ周圍ヨリ撤收セシムルコト

二、領事館用自動車ノ使用復活並ニ館員ノ「タクシー」利用ヲ妨害セサルコト

三、領事館員ニ對スル尾行撤廢

四、在滿蘇聯居留民ニ對スル壓迫停止

五、在滿蘇聯居留民カ當然有スヘキ基本的權利ヲ尊重スルコト

六、在滿蘇聯人北鉄年金受領者ニ對スル年金即時支拂實施

七、被逮捕蘇聯人ノ至急釋放

八、館員及蘇聯居留民ニ對スル出入國査證ノ即時發給

尚、哈爾賓、滿洲里ヘ轉電セリ

600

REEL No. A-0303

アジア歴史資料センター

電信寫

祕

受信 三四三〇六 （臨）

新京 十一月廿二日後發 欧、亜

本省 廿二日夜着

有田外務大臣

植田大使

往電第八二五號（至急）

第八二四號ニ關シ

本件蘇側申出ニ對シ左記要領ノ通リ諸種方軍及外務局側ト打合セタル處右樣取計ヒ差支ナキヤ御回電請フ（尚軍側ヨリモ同趣旨ヲ照會セリ）

記

今日迄ノ滿鐵ノ大乘的見地ニ基ク解決ノ努力ニモ拘ラス突如最後通牒的通告ヲ提出シ來レル蘇側ノ態度ヲ難詰シ滿側トシテハ蘇側カ第

三國ノ滿蒙ヲ企圖スルニ於テハ敢テ拒否スルモノニアラサル旨ヲ明カニスルト共ニ當座側申入實行ニ關シテハ此ノ際大局的見地ニ於テ左ノ趣リ回答シ同時ニ滿側ヨリ往電第八二四號ノ保障ヲ要求シ右ニ關スル蘇側ノ回答ヲ求ムルコトトス

一、三、三ニ付テハ相互主權ニ依リ撤廢ス

四、五ニ關シテハ一般的原則ニ基キ區別セサルコトヲ明カニス

六ニ付テハ適宜ノ措置ニ依リ支拂ニ付考慮ス

七ニ付テハ心得トシテ劉夫人及一チタ」侍人ヲ釋放スルニ於テハ今回ノ報復ニ關聯シ逮捕サレタル蘇聯人ニ付テノミ考慮スルコトトス

八ニ付テハ館員ノ至證、家族ノ身分證明書等ニ付テハ相互主權ニ依リ發給ス但シ一般人ニ付テハ國內法規ニ依ルモノトス

601

REEL No. A-0303

0415

アジア歴史資料センター

電信寫

祕

但シ在滿鮮驛入ニ關スル所謂年金不支拂云々ハ年金規定ニ先除ニ
箇月及ハ三箇月ノ規定アルモ先拂トスル時ハ死亡等ノ場合取戻困難
ナル爲先拂規定ハ強行規定ニアラスシテ任意規定ナリトノ解釋ノ下
ニ哈爾賓北鐵運務處豆滿所傭ニ於テ本年六月ヨリ後拂トセルヲ指スモ
ノナリ
右、哈爾賓ヘ轉電セリ

電信寫

祕

昭和13　三月五日一一時　新京　十一月廿四日後着　發、瀧
本省　廿四日夜着
瀧田次官

有田外務大臣

第八三〇號

往電第八二二號ノ二ニ關シ
右往電ノ一及第八二四號蘇側申出ノ次第モアリ旁上京中ノ下村特派
員ノ報告ニ依レハ領ノ出入及物資ノ搬入等ニハ今猶多少妨害シ居ル
趣ニモアリ此ノ際問題ノ解決ヲ容易ナラシムル爲關係機關協議ノ上
治安部ヲシテ左ノ通リ出先官憲ニ指命セシメタリ
一、監視ニ付テハ日警ヲシテ立會ハシメ出入者ノ抑止訊問ヲ爲サス
二、禁料食糧等ノ供給制限ハ撤廢ス
大臣、哈爾賓、滿洲里ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303
0416
アジア歴史資料センター

電信寫

公信

別

祕

昭和十　三四五七五

新京　十一月廿五日後着
本省　廿五日夜着

有田外務大臣

柿田大使

第八三五號

往電第八二四號ニ關シ

本件鮮側通告ニ對シ外務局ヨリ往電第八二五號ノ趣旨（貴電第一一二八號ノ修正ヲ加フ）ニ基キ回答方下村ニ訓令セリ二十六日中ニ先方ニ申入ノ筈

但滿洲里來電第七〇號同地蘇聯領事申入ニ對シテハ回答ハ哈爾賓ニテ爲サルヘキ旨同地蘇聯領事ヘ通報ヲシテ回答セシムル筈ナリ

哈爾賓ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303

アジア歴史資料センター

電信寫

公館

祕

604

REEL No. A-0303

アジア歴史資料センター

祕

公館

電信寫

605

REEL No. A-0303

0418

アジア歴史資料センター

電信寫

公館

祕

昭和13　三五〇

暗　新京　十一月卅日後發
本省　卅日後着

有田外務大臣　植田大使

第八五〇號

往電第八四〇號ニ關シ廿六日附「チタ」來電要領蘇側ハ其ノ後モ給水ヲ爲ササル爲目下水全ク缺乏シ詮方ナク女傭人ヲシテ館員附添ノ上往復二粁ノ井戸ヨリ「バケツ」ヲ以テ水ヲ運搬セシメ居ルモ右ニテハ到底需要ヲ充タシ得サル爲メ、本官ハ或大ノ國際ヲ慮シツツモ涙ヲ呑ミテ一部館員ヲシテ水ヲ運搬セシメタリ

蘇、哈爾賓、滿洲里ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303

アジア歴史資料センター

電信寫

祕

昭和15　三五三四四　歐、亜

十二月二日後發
二日夜着

本省　宛　南京

有田外務大臣

第八五七號ノ一

昨朝貴來電第二一二號及往電第八四三號ニ關シ

一日「コルブツオフ」下村ヲ來訪廿六日會談ノ快報ヲ莫斯科ニ報告セルカ無事細部ノ點ニ亘ル可能性ハ尚必スシモ完全ニハ解消シ居ラスト思ハル即チ第一ニ蘇側ハ日滿當官ノ監視ニハ何等反對セサルニ關聯關係ノ惡化ノミヲ企圖シ想ユル毎等的、挑戰的行爲ヲ止メサル白系當官ヲ領事館ヨリ遠サクヘキコトヲ飽迄主張ス第二ニ蘇側ハ「チタ」、武市ノ滿側自動車使用ヲ現在迄モ停止シ居ラス使用セサルハ滿側當局カ忍假ナルカ又ハ殊更蘇當局ト交渉セス以テ蘇側ノ自動車使用ヲ封セントスル底意ヲ滿側カ有スルカノ何レカトシカ考ヘラレス故ニ滿側ニ對シ自動車使用權ノ即時確認ヲ要求スト言ハルニ依リ下村ハ相互ニ監視ノ全部的撤廢ヲ爲サハ白系云々ノ問題ハ別クナル筈ナリ蘇ハ何故ニ之ニ同意サレサルヤ自動車問題ニ付テハ蘇側ハ滿側ノ自動車使用ヲ許可シ然ル後滿側カ即尚同樣ノ處置ヲ取ラサル場合ニ始メテ本件ヲ持出ス資格アリト強調ノ上（以ク）

REEL No. A-0303
アジア歴史資料センター

電信寫

祕

昭和16　三五三四五　暗　新京　十二月二日後發　宗、亞

宛田外務大臣　本省　二日夜着

第八五七號ノ二　藤田大使

蘇夫人ノ件ニ言及セル處「ゴ」ハ蘇聯邦ニシテ而モ國家的犯罪ヲ犯セルモノニシテ滿側カ種々主張スルハ一種ノ内政干渉ナリ

一、遡ヘ次イテ下村ヨリ二十六日ノ滿側提案ニ對スル回答ヲ促セルニ對シ若干ノ問題ハ既ニ相互ニ保障セラレタルモノト看做サレテ差支ナキカ監視、自動車等ニ關スル問題ハ未解決ニシテ査證ニ關シテハ不取敢「クーリエ」ノ相互派遣ニ同意ス其ノ他ニ關シテハ今後ノ話合ニ依リ逐次或ハ解決シ或ハ保障サルヘキモノナリト述ヘ兎ニ角白系露官ヨリ自動車ノ問題ニ關スル蘇側ノ主張ヲ新京ニ取次カレ度シト要請セル趣ナリ尚「ゴ」ハ哈爾濱居留民ニ對スル處迫カ依然トシテ緩和サレス又一部日本食料運搬者ニ對シ白系露官ハ館前ニテ之ヲ訊問セル旨附言シ居タリ趣ナリ

蘇、哈爾賓、滿洲里ヘ轉電セリ

REEL No. A-0303
0422
アジア歴史資料センター

祕

電信寫

昭和拾三年　六三五二　暗　奉天發　十二月十三日後發

本　省　十二月十三日夜着

有田外務大臣　　　　[illegible]總領事

第二二〇號

奉[illegible]轉電[illegible]

第二一九號、

十二日「マルヤツホフ」ハ下村ヲ來訪二十六日ノ論同協定ニ對スル違

韓舗ヲ齎シタルカ右ニ依レハ今次ノ同ニ於ケル「ゴ」ノ態度ハ從來ニ比

シ極メテ妥協的ニシテ「チタ」、「ブラゴエ」ニ於ケル協定會議

ノ履行遂行ニ兩者間ノ全面的保障ヲ約シ協調ハ「ロゴフ」關係部外

二名ヲ又蘇側ハ右田關係者外二名ニ夫々「ターリエ」全權ヲ與フル

コトニ協定セルモ兩國側ノ新キ右田關係者ニ對スル全議ヲ協調員ニ於

ケル協議預ケ出席員ノ達成遂行證ノ發給ト協定ケシトスル原調ノ主張

ヲ撤回シタル為ナリ要細郵報スヘキモ不取敢

大臣、滿洲里ニ轉電セリ

電信寫

秘

昭和五　三七八八八　暗　新京　十二月廿七日後發　欧、亜
本省　廿七日夜着

植田大使

有田外務大臣

第九二一號

往電第八九五號ニ關シ

一、其ノ後領事館ハ在武市滿側ノ野手板塀ヲ縦半米横二米位ニ亘リテ切取リ露骨ナル示威ヲ行ヒ又泉副領事ノ「チタ」行ニ對シ切符ヲ販賣セザリシ等ノ事實アリシニ對シ哈爾賓ニ於テ嚴重抗議セリ

二、「チタ」滿側ノ自動車運轉手免狀沒收ニ付テハ蘇側ハ主張ヲ枉ケス更ニ借家契約更新ヲ企圖シ宿舍ノ一部明渡ヲ求メ來レル趣ナリ

哈爾賓、滿、滿洲里へ轉電セリ

610

REEL No. A-0303

0424

アジア歴史資料センター